

第1回保護者懇談会におけるグループ協議概要

■グループ協議Ⅰ「北川学や子育て支援策、保小中連携の取組等について」

【北川学】

- ・北川学は地域を知るという意味で大変よい取組だと思う。北川村は面積が広く、ゆかりがなければ村内の他の地区を知れることも訪れることもなく過ぎていくが、今回子ども達のクラスは島地区を訪れることにより、地区の現状や同じ村内でありながら野友地区と違う村の姿を子どもなりに理解できていた。気づきや課題を子どもの時に感じたことにより、将来につながっていく機会となり得ると思う。

【ICT 関係】

- ・子どもが一人一台パソコンを持ったら、毎日持ち帰るのか？結構大変だと思う。
- ・Wi-Fi がつながっていない家庭にモバイルルーターを貸与すると、家庭で使用するときには制限はかけることができるのか？
- ・オンラインで公開授業を見れるようにしてほしい。

【保小中連携・一体化】

- ・コロナの関係で今はお休みしているかもしれませんが、合同の体育（3・4年生）など子どもはすごく喜んでいました。
- ・小中で学Pのコロナ対応や修学旅行に対する取り組み方が違っており、連携して同じ考え方でしたらよいと思う。

【地域ぐるみ教育】

- ・愛校作業に地域の方が来てくれて良かった。きれいになった。
- ・ボランティア登録カードを回覧で定期的に回してみてもどうか？具体的な日程も添えたらわかりやすいと思う。

【子育て支援】

- ・高校生への通学費助成は助かっている。通学のみで寮生活の生徒は対象となっておらず、郡外へも広げて進学への支援をしてはどうか？

【公認心理師】

- ・公認心理師の配置は子ども達にとって大きなプラスになっていると思います。どのような関わりがあるのか具体的に知りたいです。
- ・公認心理師がいるのは知っていましたが、どこで活動しているのか知らないままでした。ゆずの花で自分の子どもと一緒に遊んでもらったことで改めて認識しました。いろんな方に知ってもらうためにも、イベントや行事等に参加してもらえればと思いました。

【部活動】

- ・中学校の部活動の協議状況は？部活動は学校を決める要因に大きく関わっています。

【子育て教育ビジョン全般】

- ・広報誌で大きく誌面をさいてビジョンを紹介して下さい。多くの村民は子どもが少なくなったとか北川学って何だろう？とか、おぼろげにしか捉えられないと思います。村全体に課題や取組を共有し関わる人、関心を持つ人を増やさないといけないと思います。

■グループ協議Ⅱ「子育て・文教エリア（図書館や公園、保小中一体的な施設）整備について」

【多様な施設・機能】

- ・地域に開放された図書館がほしい。その場で子ども達が地域の方と関わりを持てたりお互いに興味関心を持てるようになればよい。
- ・ゆずの花に図書・学習スペースを設けては？図書館を作っても需要がないのでは？
- ・図書館や公園など種類やスタイルに関わらず、誰でも気軽に集える場所がほしい。
- ・気軽にいける公園があればいいかなと思う。
- ・公園の整備を希望します。（住宅地に隣接したもの、加茂の公園の利用、奈半利川本流・支流に親水公園→楽しく川遊びができる場所が案外少ない。）モネの庭は観光施設であり、ここでいう公園とは異なると思う。
- ・モネの花の庭に公園を作ってショップと隣接した遊べる空間を作ってほしい。

【保小中一体化施設・機能】

- ・防災機能を兼ねた保小中一体型の建物があつたらいい。
- ・保小中一体施設だけではなく、デイサービスや役場も含めた複合施設にして、全ての機能を集約しては？役場、村民会館、デイサービスセンターは、村営住宅やシェアオフィスとして活用することも検討してはどうか？
- ・災害時に逃げる場所がほしい。（防災センターのような保小中の子どもが一斉に集まれる避難場所）
- ・安芸市の奈比賀にある教育支援センターのような不登校の子どもが活動や学習できる場所を作ってほしい。
- ・お金が必要になると思いますが、体育館に空調設備をつけてほしい。